

## ①学習課題（中学校3年生）



### 【国語】

#### <内容>

○教科書「言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして」（P76～P77）を読んで、相手にわかりやすく正確に伝えるためには、どうしたらよいかについて、自分の使っている「言葉」に着目して考えてみよう。また、考えたことを家の人に伝えてみよう。

#### <取り組み方>

- ① 教科書「言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして」（P76～P77）を音読してみよう。
- ② 「言葉の変化について知ろう」「①時代による言葉の変化」（P76）を読んで、平安時代の言葉と現代の言葉の意味の違いをノートにまとめてみよう。
  - ・「うつくし」という言葉の意味を平安時代と現代との違いがわかるようにしてみよう。
- ③ 「言葉の変化について知ろう」「②世代による言葉の変化」（P77）を読んで、同じ時代に生きている人たちの間でも使用する世代によって、意味や使い方に違いがある言葉について、次の観点からまとめてみよう。
  - ・教科書には何という言葉の例が出されているか、それぞれの言葉の意味は何か。
  - ・なぜ、世代によって言葉の意味や使い方に違いが生まれるのかについての自分の考え。
  - ・「世代間で意味や使い方の異なる言葉」や、「年配の人たち、若い人たちだけが使っている言葉」はないか。調べられる人は、調べてみよう。
- ④ 相手にわかりやすく正確に伝えるためには、どうしたらよいかを考えてみよう。特に世代が違う相手には、どうしたらよいかを考えてみよう。また、考えたことを家に人に伝えてみよう。

※①～④に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※④について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。